桑 名 市

市議会定例会[3月]

提出議案の概要について

本物力こそ桑名力

令和４年３月議会の主な議案

本物力こそ桑名力

一般会計当初予算

総額　５２６．７億円　　・令和３年度当初予算と比べて６．５億円（１．２％）増

各会計当初予算の規模

	予算額	（前年度比）
一般会計	５２６．７億円	（ ＋ １．２％ ）
特別会計	２９１．６億円	（ ＋ ５．７％ ）
企業会計	１４２．６億円	（ ▲ ５．０％ ）
総計	９６０．９億円	（ ＋ １．５％ ）

条例の制定および改正

〇桑名市組織条例等の一部改正

- 政策創造課を市長公室から市長直轄に変更することに伴い、所要の改正を行う。

〇桑名市ゼロカーボン基金条例の制定

- 持続可能な脱炭素社会づくりの推進を目的とした取組に要する経費の財源に充てる基金を設置するため、条例を制定する。

〇桑名市子ども応援基金条例の制定

- 子ども及び子育ての支援をする事業に要する経費の財源に充てる基金を設置するため、条例を制定する。

本物力こそ桑名力

令和4年度当初予算案の概要

令和４年度当初予算の編成にあたって

TAKE CHANGE FOR GRANTED（1）

本物力こそ桑名力

社会は劇的に変化し、それに対応するための変革が求められる時代が到来

パンデミック
（感染症世界流行）

地震・津波の
防災・減災

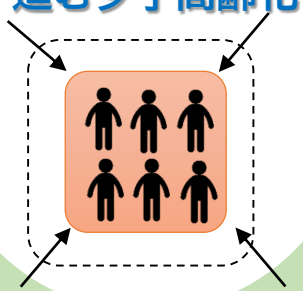
生産年齢人口減少
労働者不足

災害リスク
の高まり

台風・集中豪雨
の防災・減災

人生設計・
価値観の多様性

将来的な人口縮減
・進む少子高齢化



ダイバーシティ
＆インクルージョン
（多様性と包摂）

サプライチェーン
国内回帰

デジタル化によ
る行政効率化

ゼロカーボン
シティの実現

医療・介護需要
の増加

エネルギー
政策の転換

新技術による
地域課題解決

DX, Society5.0
（超スマート社会）

5G　MaaS
AI　IoT　RPA
ドローン

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

TAKE CHANGE FOR GRANTED（2）

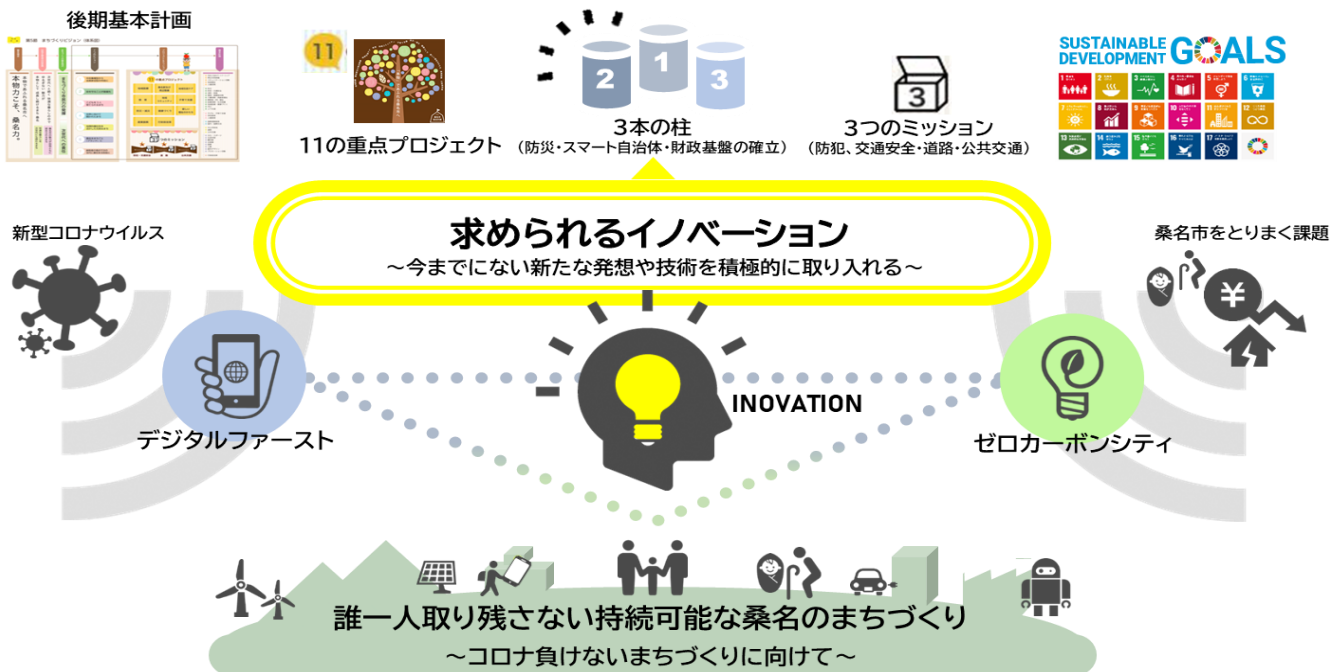
本物力こそ桑名力

「変革を“当たり前”に」を合言葉に予算編成を進める

社会の仕組みや生活の在り方などが変化する中で目指す桑名市の将来像の実現のため「**総合計画**」を着実に推進し、**持続的な市民の安全・安心な暮らし、豊かな地域社会の実現**を進めていく。また、依然として予断を許さない**新型コロナウイルスへの対応**、社会的な課題となっている**デジタルトランスフォーメーション**、そして**脱炭素社会の実現**にもしっかりと対応していく。

そのため、桑名市の予算編成では「**変革を“当たり前”に**」を合言葉に、今までにない新たな発想や技術を積極的に取り入れ、躊躇なく変革を進めるという考え方と実行を重視して令和４年度予算編成を進めてきた。

総合計画の着実な推進とコロナウイルスへの対応



TAKE CHANGE FOR GRANTED（3）

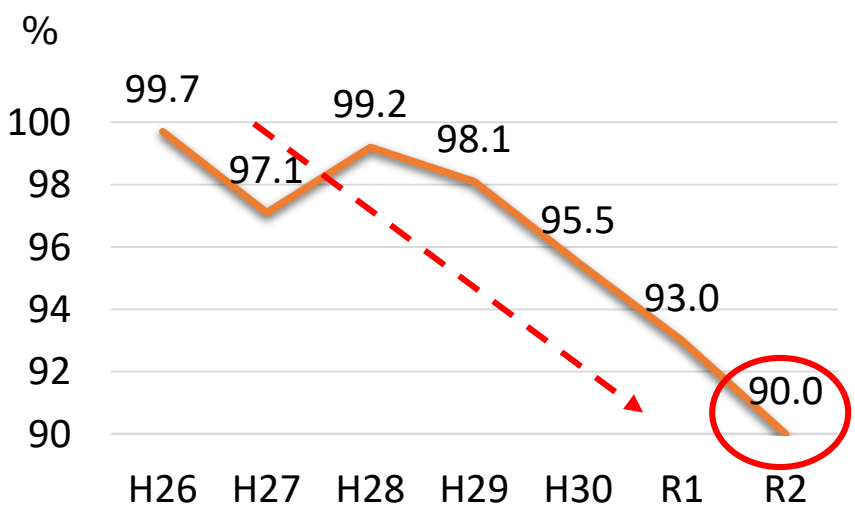
本物力こそ桑名力

コロナによる危機を乗り越え、変革を進められる財政に

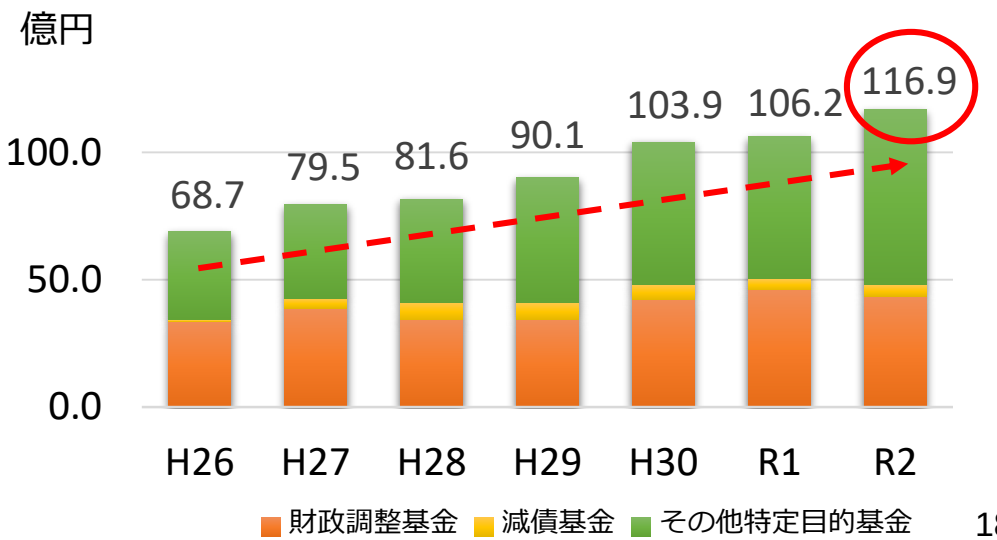
桑名市では、これまで「**行財政改革**」と「**市民の皆様の負託に応える将来を見据えた投資**」との二つをしっかりと両立させ、財政健全化とともに、まちの魅力向上、市民の皆様の暮らし向上等に努め、**持続可能な行財政経営**を目指してきた。

こうした行財政経営を進めてきた結果、財政のゆとりを示す**経常収支比率**は、一時は“県内ワースト”に陥っていたが、直近の決算では**新市発足（平成16年度）以来、最も財政の健全さを示す数値**となった。また、市のいわゆる貯金である**基金**についても、**新市発足以来の過去最高額を更新**している。新型コロナウイルス感染症への対応も、この財政力を発揮して機動的に対策を講じてきた。そして、**この財政力を後ろ盾にし、行政運営、まちづくり等の変革を進めていく。**

経常収支比率の推移



基金（年度末現在高）の推移



令和４年度当初予算の特徴

未来の飛躍を約束する予算

本物力こそ桑名力

令和４年度当初予算は、コロナの危機を乗り越え、税収も戻りつつある中、財政の力を蓄えながら、これからの大型プロジェクトを着実に進めていく。そして、これらプロジェクトがもたらす未来の飛躍を約束する予算である。

消防庁舎等
再編整備

小中一貫校
整備

桑名駅周辺
施設整備

大山田PA
スマートインター
チェンジ化

令和4年度当初予算の戦略的重点事業

新型コロナウイルス感染症対策

・ワクチン接種、感染対策及び生活支援など、機動的かつ迅速に対策を講じていく

総合計画を推進するための「３本の柱」

市民の皆様の命を守るための「防災力の強化」

・消防本部機能の高台移転
・避難対策の推進
・国土強靭化の推進 etc

時代に対応したサービスを市民の皆様へ提供するための「スマート自治体への転換」

・行政事務・窓口サービス等のデジタル化
・自動運転、ＭａａＳ etc

持続可能なまちを創造していくための「安定した財政基盤の確立」

・大山田ＰＡのスマートインターチェンジ化
・企業誘致の推進 etc

「重点プロジェクト」の推進

・桑名駅周辺施設整備　・多度地区小中一貫校整備　・地域コミュニティ推進 etc

「誰一人取り残さない」まちへ

・ＳＤＧｓの理念　持続可能な社会の実現

ゼロカーボンシティの実現に向けて

・市役所本庁舎に再生可能エネルギーの導入
・オンサイトＰＰＡを活用した公共施設への電力供給
・公用車の次世代自動車への転換
・太陽光発電設備等共同購入事業 etc

令和４年度当初予算の規模

◎ 一般会計当初予算の規模

令和４年度　一般会計当初予算　５２６．７億円

（令和３年度対比　６．５億円、１．２％の【増加】）

当初予算規模の推移

当初予算	Ｈ３０	Ｒ１	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４
予算額	５１８．５億円	５０６．２億円	５０８．２億円	５２０．３億円	５２６．７億円
増減率	▲２．０％	▲２．４％	０．４％	２．４％	１．２％

～　当初予算としては過去２番目の規模となる積極予算　～

市税の状況（令和４年度当初予算）

本物力こそ桑名力

◎ 市税全体では、

２１６．０億円（Ｒ３　２０３．２億円、６．３％）

⇒ 前年度対比１２．８億円の増

＊市民税	９９．２億円	（Ｒ３　９０．７億円、	９．４％）
個人	８９．５億円	（Ｒ３　８３．５億円、	７．１％）
法人	９．７億円	（Ｒ３　７．１億円、	３５．８％）
＊固定資産税	９４．４億円	（Ｒ３　９０．３億円、	４．５％）
土地（現年）	３２．０億円	（Ｒ３　３２．２億円、	▲０．８％）
家屋（現年）	４１．３億円	（Ｒ３　４１．１億円、	０．５％）
償却資産（現年）	２０．０億円	（Ｒ３　１５．８億円、	２６．７％）
＊軽自動車税	３．６億円	（Ｒ３　３．４億円、	５．９％）
＊市たばこ税	７．９億円	（Ｒ３　８．４億円、	▲５．３％）
＊入湯税	０．５億円	（Ｒ３　０．５億円、	０．０％）
＊都市計画税	１０．４億円	（Ｒ３　９．９億円、	４．７％）

新型コロナウイルス感染症対策（１）

本物力こそ桑名力

新型コロナワクチン接種事業費　6億609万3千円

- 新型コロナウイルスワクチンの接種により、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。

新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業費　513万8千円

- 新型コロナウイルス感染症の陽性患者で自宅療養等を行う者に対して、必要な医療の提供体制を確保するため、自宅療養者等の自宅等に訪問看護を行った訪問看護事業者等を支援する。また、陽性となった自宅療養者及びその同居家族の生活を支援するため、食料品等の支援物資を提供する。

病院事業運営費負担金　8億464万1千円

- 地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、小児医療等の病院事業運営経費の一部について、設立団体である市が負担する。また、令和４年度は新型コロナウイルスに係る体制整備のために追加負担する。

新型コロナウイルス感染症対策（２）

本物力こそ桑名力

㊨ 桑名水郷花火大会新型コロナウイルス対策事業費　1,179万円

- 桑名水郷花火大会の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症により過去２年にわたり中止となったことに鑑み、観光客の皆様に安全・安心に花火大会を楽しんでいただけるよう、コロナ対策を実施する。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費1,440万6千円

- 緊急小口資金等の特例貸付について、総合支援資金の借入額が限度額に達している世帯、再貸付について不承認とされた世帯などを対象に「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給する。

防災力の強化（１）

本物力こそ桑名力

津波避難施設整備費　4億5,445万5千円

- 南海トラフ発生時の津波浸水想定等を踏まえ、地理的に津波からの避難が極めて困難となることが想定される長島町伊曽島地区に、一時的な津波避難施設となる津波避難誘導デッキを整備する。

消防庁舎等再編整備アドバイザリー業務実施事業費　399万1千円

- 公民連携を活用した、消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備に向けた民間事業者の選定及び基本設計等に係る支援業務を委託する。

戸別受信機整備費　7,093万3千円

- 災害時や災害が発生する恐れがあるとき、迅速かつ的確に市民に情報を伝達することは極めて重要であり、本市においても浸水想定区域にデジタル防災行政無線（同報系）を整備した。しかしながら、天候や建物の構造等により聞こえづらいなどの課題もあることから、必要とされる方に対して戸別受信機としての防災ラジオを配布する。

防災力の強化（２）

本物力こそ桑名力

車両購入費（長島木曽岬分署）　2億2,870万7千円

- 災害活動に万全を期すため、桑名市消防署長島木曽岬分署配備の30m級先端屈折式はしご付消防自動車を更新する。

㊨稗田地区自然災害対策事業費　6,000万円

- 県事業による員弁川改修工事と並行して、災害の発生を予防し、また災害の拡大を防止する事を目的に堤防下道路にあたる市道稗田4号線について、排水構造物等の整備を行う。

㊨道路防災対策事業費　3,410万円

- 災害の発生を予防し、または災害の拡大を防止することを目的に、市内各所における道路施設の整備を行う。

スマート自治体への転換（１）

本物力こそ桑名力

行政事務デジタル化推進事業費　1,058万4千円

- 行政運営のＤＸとして、ＷＥＢ会議やテレワーク環境の整備、ＲＰＡやＡＩ－ＯＣＲなどのＩＣＴ技術の活用による業務効率化を進める。

㊨ 窓口サービス等デジタル化推進事業費　715万7千円

- 市民サービスのＤＸとして、転入や転出等の際に、事前に必要な手続きや持参物を把握できる「手続きガイド」を導入するとともに、オンライン申請や窓口キャッシュレス化等を推進する。

スマート自治体への転換（２）

本物力こそ桑名力

次世代モビリティ推進事業費　2,500万円

- 社会情勢の変化に対応するため、従来のシステムに代わる新たな交通ネットワークのあり方や、将来的な自動運転の実現可能性の検討を行うための実証実験を実施する。

㊨ 粗大ごみ収集オンライン申請推進事業費　430万3千円

県内初

- 粗大ごみの受付は電話予約のみであるが、新たにWEBからの粗大ごみ収集申込を可能とすることで、24時間365日いつでも申込ができ、キャッシュレス決済にも対応することで、市民の利便性向上を図る。

安定した財政基盤の確立

本物力こそ桑名力

スマートインターチェンジ推進事業費　1,800万円

- 都市計画マスタープランに位置づけられた、多度地域の南部やインターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実や都市内幹線道路の整備を図る。

㊨ 桑名北部東員線等　2,100万円

- スマートインターチェンジ設置に向けたアクセス道路として、桑名北部東員線の未整備区間である市道坂井多度線～国道258号の整備を行う。また、民間区画整理事業に伴う桑名北部東員線及び大山田播磨線の用地を公共施設管理者負担金により取得する。

企業等誘致奨励金　4,749万9千円

- 本市の産業構造の高度化及び多様化を促進するとともに、企業の振興、産業の発展、市勢の進展を図るため、企業へ立地奨励金を交付する。

「重点プロジェクト」の推進（１）

本物力こそ桑名力

多度地区小中一貫校整備事業費　5億7,719万円

- 本市における第一番目の小中一貫校として、計画地の立地や優れた眺望を生かした「丘の上の学び舎」としての整備を進め、義務教育９年間を見通した子どもたちの「学び」と「育ち」を支える学習環境を整備する。

桑名駅周辺施設整備事業費　2,032万4千円

- 桑名駅自由通路の整備に合わせて、民間事業者の提案をいただきながら、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上とともに賑わいと活力ある拠点づくりを進める。

「重点プロジェクト」の推進（２）

本物力こそ桑名力

地域コミュニティ推進事業費　2,706万7千円

- 「市民の個性が活かせる地域コミュニティ」を確立するため、令和４年度から新たにまちづくり交付金を交付し、地域の特性に応じた活動が展開できるよう財政支援を行うなど、まちづくり協議会の形成に向けた取組を促進する。

㊨ ヴィレッジ公園管理運営費　1,419万5千円

- 令和４年４月から供用開始する予定のヴィレッジ公園を、敷地内に整備される多世代共生施設と連携し、一体的に運営することで、施設の利用者やその保護者、地域住民のつながりを促進する。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「誰一人取り残さない」まちへ（１）

本物力こそ桑名力

㊨ 地域で支える子ども見守り応援事業費　473万6千円

- 市内の子ども支援団体が、宅食、フードパントリーを行うことで、困窮世帯の経済的支援を行うと共に、子どもが安全安心に生活できているか等についての見守り支援を行う。また、SNSを活用した寄り添い・傾聴、食事の提供、遊び、学習、資格取得等を通じた居場所を子どもに提供する。

㊨ ３歳児健診眼科スクリーニング検査事業費　283万円

- ３歳児健康診査の眼科検診において屈折検査を実施し、遠視や乱視などの程度や斜視の有無などを調べ、弱視のリスクを判定し、視覚異常を早期に発見、適切な治療につなげる。

㊨ 多胎妊産婦等支援事業費　103万円

- 多胎家庭に対する家事、育児のサポート等により、多胎妊産婦の身体的、精神的な負担の軽減を図ることで、多胎家庭の育児困難を緩和し、孤立化を予防する。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「誰一人取り残さない」まちへ（２）

本物力こそ桑名力

新 高齢者特殊詐欺被害防止対策費　179万6千円

- 特殊詐欺等による犯罪被害を未然に防止するため、特殊詐欺の被害に遭いやすい65歳以上の高齢者を対象に特殊詐欺等被害防止機器の貸し出し及び機器の購入に要した費用の一部を補助する。

新 高齢者運転免許証自主返納支援事業費　253万1千円

- 運転免許証を返納した方がサービスを受けるために必要な運転経歴証明書の交付手数料の1,100円の助成とＫ-バス回数券又は交通系ＩＣカードの交付を実施し、高齢者の交通事故減少に寄与する。

新 若年性認知症支援推進事業費　県内初　100万円

- 地域の介護サービス事業所における既存資源を活用し、若年性認知症の人とその家族に対する専門的な相談・助言等を日常的かつ継続的に行う支援拠点の整備を推進することで、若年性認知症の人やその家族の支援体制の充実を図る。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「誰一人取り残さない」まちへ（３）

本物力こそ桑名力

竹資源循環創出推進事業費　1,340万6千円

- 桑名の竹を活用した事業を産官学で推進することで、放置竹林の解消を図るとともに地域内循環を促進し、SDGｓの目標・理念に基づく未来に向けた農業・経済活動を推進する。

多文化共生推進事業費　347万円

- 外国人住民が増加している中、多言語電話通訳サービスや多文化共生イベントを実施することで、外国人も含めた誰にとっても住みやすいまちづくりを進める。

分身ロボット活用特別支援事業費　60万円

- 肢体不自由児等の特別な支援を必要とする児童生徒が、自宅療養や入院等の際に学習機会を損なわないよう、分身ロボットOriHimeを導入することで、自宅や病院にいながら在籍学級の授業への参加や、友だちとの交流を可能とする。

その他の発表事項

本物力こそ桑名力

ホームページ
リニューアル

広報くわな
リニューアル

Instagram
始めました

情報発信を一新します！

本物力こそ桑名力

観光サイト

公式ホームページ

議会サイト

10年ぶりに
ホームページ リニューアル

令和４年２月１日（火）午前10時 公開

本物力こそ桑名力

桑名市公式ホームページリニューアル

本物力こそ桑名力

■ 旧ホームページの課題

- ●運用から10年が経過し、デザインが古く見づらい
- ●スマートフォンに対応していない
- ●アクセシビリティに十分な対応ができていない
- ●ページが多く、見たいページにたどり着きづらい

リニューアルしたことで

桑名市公式ホームページリニューアル

本物力こそ桑名力

誰もが見やすいホームページに！

☆シンプルなトップデザインで見やすい

☆レスポンシブルデザイン採用で、スマートフォンでも見やすい

☆JIS規格に則ったアクセシビリティが可能

☆トータルページを半減して、探しやすいホームページに

桑名市公式ホームページの特徴

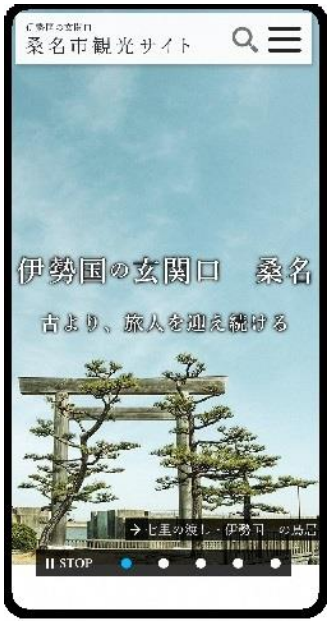
①世代ごとに
入り口を分ける
システムは県内初

②外国人住民にも見やすくするため
「やさしい日本語」のまとめページ

③観光サイト、議会サイト
も同時リニューアル

観光サイトリニューアル

デザインを一新し、見やすく使いやすい観光サイトに！



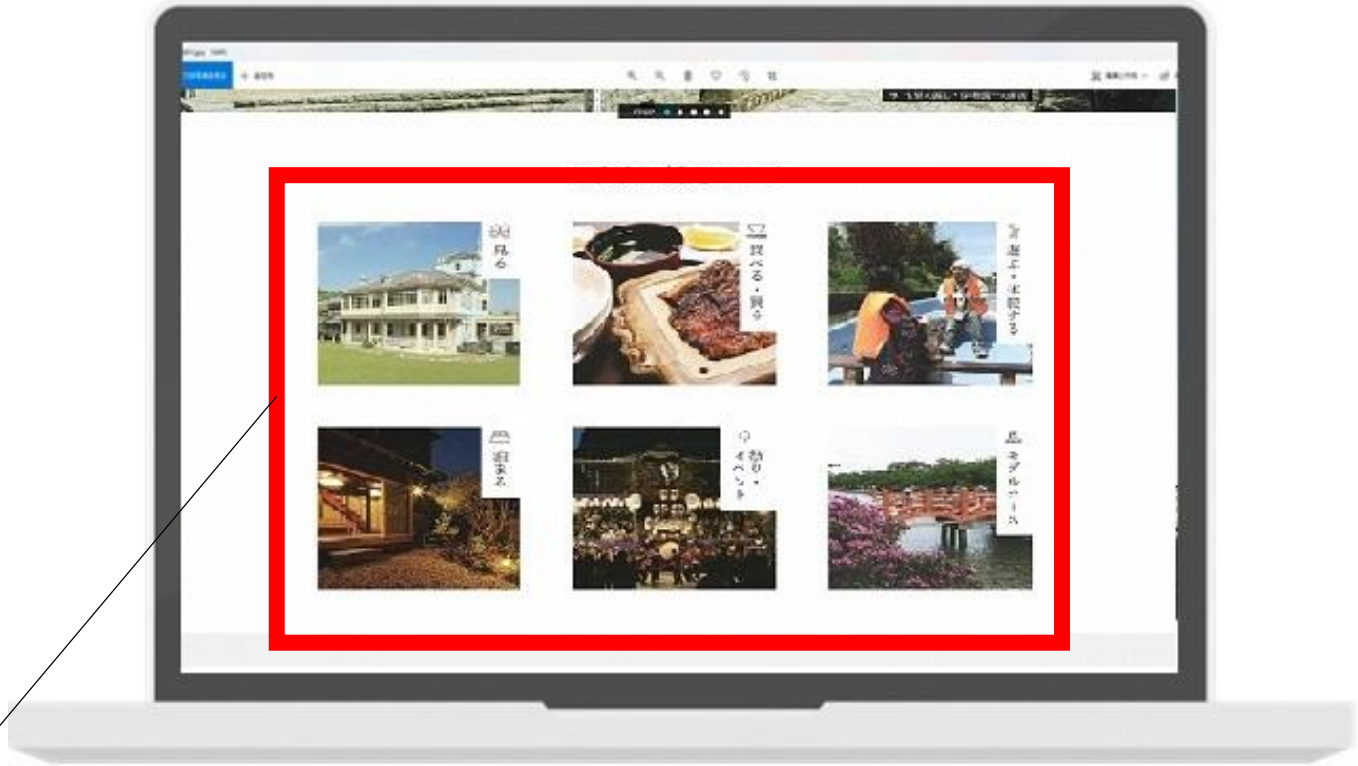
☆桑名市観光協会と多度町観光協会のホームページを一体化

☆画像を多用し、視覚的にも桑名の魅力を伝えます

☆レスポンシブルデザインを採用し、スマホ版のトップ画像は別撮影

☆色味やボタン配置をシンプルなデザインにして、見やすく使いやすいホームページに！

観光サイトリニューアルの特徴



〇アイコンに写真を使用し、視覚的にもわかりやすい表示
〇利用者が情報を探しやすいようにジャンルを６つの項目に整理
〇「特集」コンテンツで桑名の魅力を深掘り

議会サイトリニューアルの特徴

☆市民向けのコンテンツをトップページに配置したり、イラストや画像を多用するなど、市民が親しみを感じられるデザインに

☆ YouTubeチャンネルの開設や各ページの見直しで、誰にでもわかりやすい身近なものになるよう刷新

広報くわなリニューアル

6年ぶり

本物力こそ桑名力

■ リニューアルコンセプト

「もっと桑名が好きになる広報紙へ」

広報くわな４月号から

◇タイトルをローマ字表記に

◇スタイリッシュな雑誌風に

◇目次を表紙裏に

※写真はイメージです

広報くわなリニューアルの特徴

①巻頭特集を「みんなの未来にわくわくを」をコンセプトに、市民の皆さんが読んでわくわくするようなテーマの特集を組む

②子育て世帯向けに「子育てページ」の創設

③ユニバーサルデザインフォントの導入、文字サイズを大きくすることで誰もが見やすく読みやすい広報紙に

④若い世代にも広報くわなに参加してもらえるような仕掛け

子どもの写真で紙面が明るく！

インスタグラムで「#わくわくわな」を付けて投稿した中からいくつかを広報紙に掲載

桑名市公式Instagram始めました

桑名の魅力を市外・県外の人たちに発信し、コロナが収束したときに、桑名を訪れるきっかけにしていただけるよう、昨年12月に桑名市公式インスタグラムを開設しました。

■ **桑名市公式アカウント**

「@kuwana_official」

■ **フォロワー数**

７０４人（2月3日現在）

■ **広報くわなへ掲載**

「#わくわくわな」を付けて投稿した中から、毎月広報くわなに掲載

新型コロナワクチン接種について

本物力こそ桑名力

ワクチン3回目接種の状況

■ 3回目の接種状況について（2月3日現在のVRS登録数）

接種数…４，２６８人　※接種者は医療従事者等

■ 3回目の予約状況について（2月3日現在）

接種券送付済数　…　約40,000人（令和3年7月末までの2回目接種完了者）
予約数…モデルナ約6,300人（ウェブ枠）＋各医療機関での予約

※ファイザーは、2/14から予約開始

■ ワクチンの供給について

市内で使用するワクチンは、ファイザー社製とモデルナ社製の2種類。
４月末までの供給見込みは概ねファイザー社製4割、モデルナ社製6割。
モデルナ社の方が多く入ってくる見込み。

■ 交互接種について

1・2回目接種と異なる種類のワクチンを接種することを「交互接種」といいます。交互接種の場合も抗体価は十分に上昇し、効果と安全性は確認されています。接種対象者に対してのファイザー社製ワクチンの配分は少ないため、１・2回目にファイザーで接種した人は、交互接種をご検討下さい。

５歳～１１歳の小児接種体制

国から5歳～11歳小児へのワクチン接種について、3月から始められるよう通知があり、桑名市も希望者に接種できるよう体制を整えています。

■ 対象者

約８，９００人

■ 接種医療機関

接種希望者がスムーズに接種できるよう市内医療機関と調整中

■ 使用するワクチン

ファイザー社製の小児用ワクチン

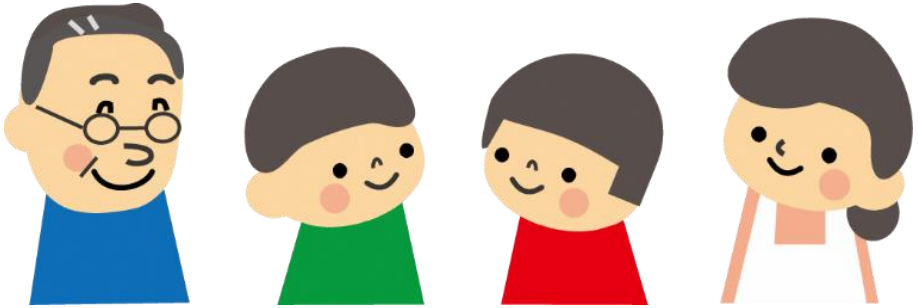
２回接種

■ 接種開始時期

国からの通知のとおり、3月から接種ができるよう、桑名医師会、市内医療機関と連携し体制を整えていきます。

本物力こそ桑名力

子ども医療費助成制度の受給対象者拡大（中学生まで）について



子ども医療費助成制度の現状

対象者

（１）　０歳から小学生まで（通院・入院）

（２）　中学生は入院のみ

（３）　多子世帯の中学生（通院・入院）

※　いずれの対象者も所得制限あり

※　多子世帯…18歳に達する日以後最初の３月31日までの子どもを
３人以上扶養している世帯

受給対象者の拡大範囲

拡大後の対象者

令和４年９月１日から…

⇒　<u>０歳から中学生まで</u>

※　所得制限あり

※　中学生への助成方法はこれまでどおり償還方式

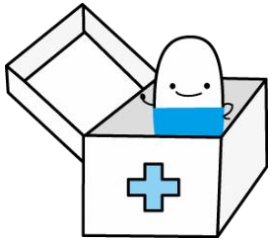
今後の予定

対象者の見込み等

- **拡大対象者数は約2,300人の見込み（中学生３学年分）**
  ※　多子世帯対象で既に受給資格を有する中学生を除いた数

- **医師会等の関係機関への周知**

- **令和４年７～８月頃に対象となる方へ申請案内**



（仮称）大山田スマートインターチェンジ（SIC）整備計画並びに都市計画道路桑名北部東員線について

～成長し続けるまち　桑名を目指し～

1．（仮称）大山田SIC整備計画の背景

2．（仮称）大山田SIC整備計画の効果

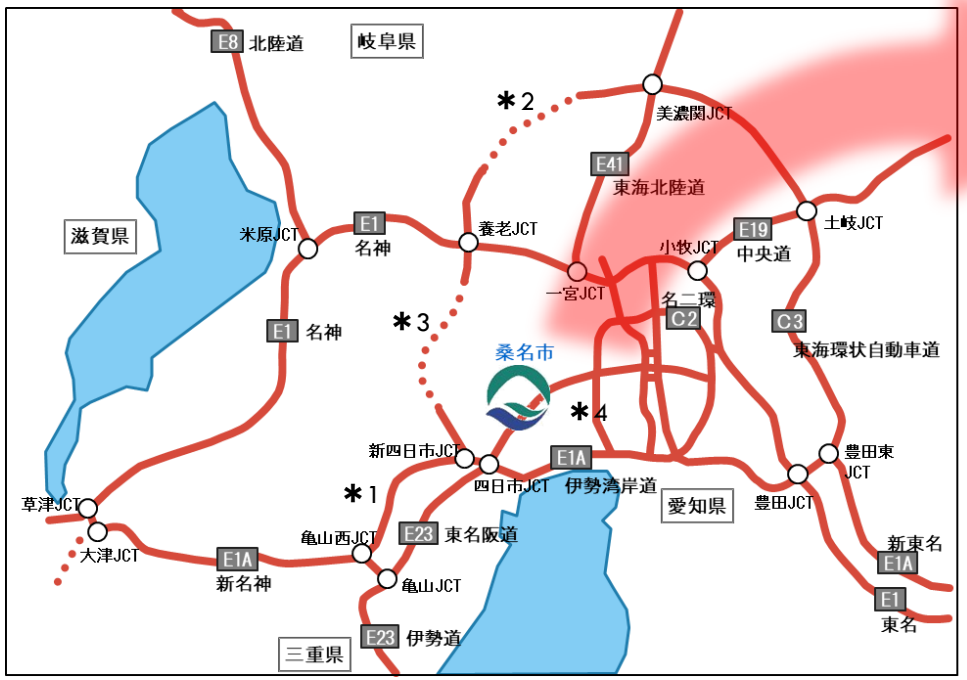
3．（仮称）大山田SIC整備計画と周辺アクセス道路

4．都市計画道路　桑名北部東員線の整備

本物力こそ桑名力

（仮称）大山田SIC整備計画の背景

桑名市は日本の東西・南北を結ぶ交通・物流の要衝にあり、日本のものづくりの中核である愛知県・名古屋市と三重県をつなぐ結節点でもある。
また、桑名市周辺の高規格幹線道路網は、新名神高速道路 新四日市JCT～亀山西JCTが2019年3月に開通し、東海環状自動車道路も2026年（令和8年）開通予定である。
以上より、桑名市は将来的に広域産業の交通の優位性がさらに高まるエリアとなる。



＊1新名神高速道路　平成31年3月開通
＊2東海環状自動車道　令和6年度開通予定
＊3東海環状自動車道　令和8年度開通予定
＊4名古屋第二環状自動車道　令和3年5月開通

桑名市都市計画マスタープラン2020では、多度地域の南部が産業誘導ゾーンに位置づけられており、産業誘致に伴うICアクセス利便性の向上が求められる。

（仮称）大山田SIC整備計画の効果

【交通負荷の軽減】
産業交通や通勤交通の分散が図られ、既存集落を通過する交通の軽減が期待できる。
【産業の集積】
都市計画マスタープランにおいて産業誘導ゾーンに位置付けられる多度地域南部を中心に、企業立地が進み、産業が集積（37企業）しており、今後もさらに産業の誘致が予定されている。
企業立地に伴い、雇用促進や安定した財政基盤の構築が期待できる。
【企業活動の継続性確保】
スマートIC整備により、産業誘導ゾーンと高速道路を結ぶ新たなネットワークができることにより、災害発生時におけるリダンダンシーが確保され、企業活動の継続性確保が期待できる。

【通勤通学の所要時間の短縮】
大山田スマートICが設置されることにより、既存ルートの変更や新規バス路線の開設による時間短縮が図られ、通勤・通学時間の削減が期待される。

【広域避難】
浸水の際、市町の垣根を越えた広域的な避難が呼びかけられている。
国道258号沿道は浸水想定区域にある一方、大山田団地周辺等は浸水被害のない市街地であり、かつ東名阪経由でのアクセス利便性が高いことから、広域的に見て優れた避難地である。
スマートIC整備により、避難時の交通分散や避難場所への到着時間の短縮が期待できる。

【観光促進】
大山田地区から多度地区にかけては、観光農園や大型園芸センター、総合運動公園といった観光・レクリエーション施設が立地・供用するとともに、多度祭上げ馬神事で有名な多度大社を有しています。
スマートIC及びアクセス道路の整備により、走行経路の分散化による交通渋滞の緩和や各施設へのアクセス所要時間の短縮が期待できる。

（仮称）大山田SIC整備計画と周辺アクセス道路

産業誘導ゾーンへの、既存アクセス道路として、現在、県道四日市線・県道御衣野下野代線の改良が進められている。

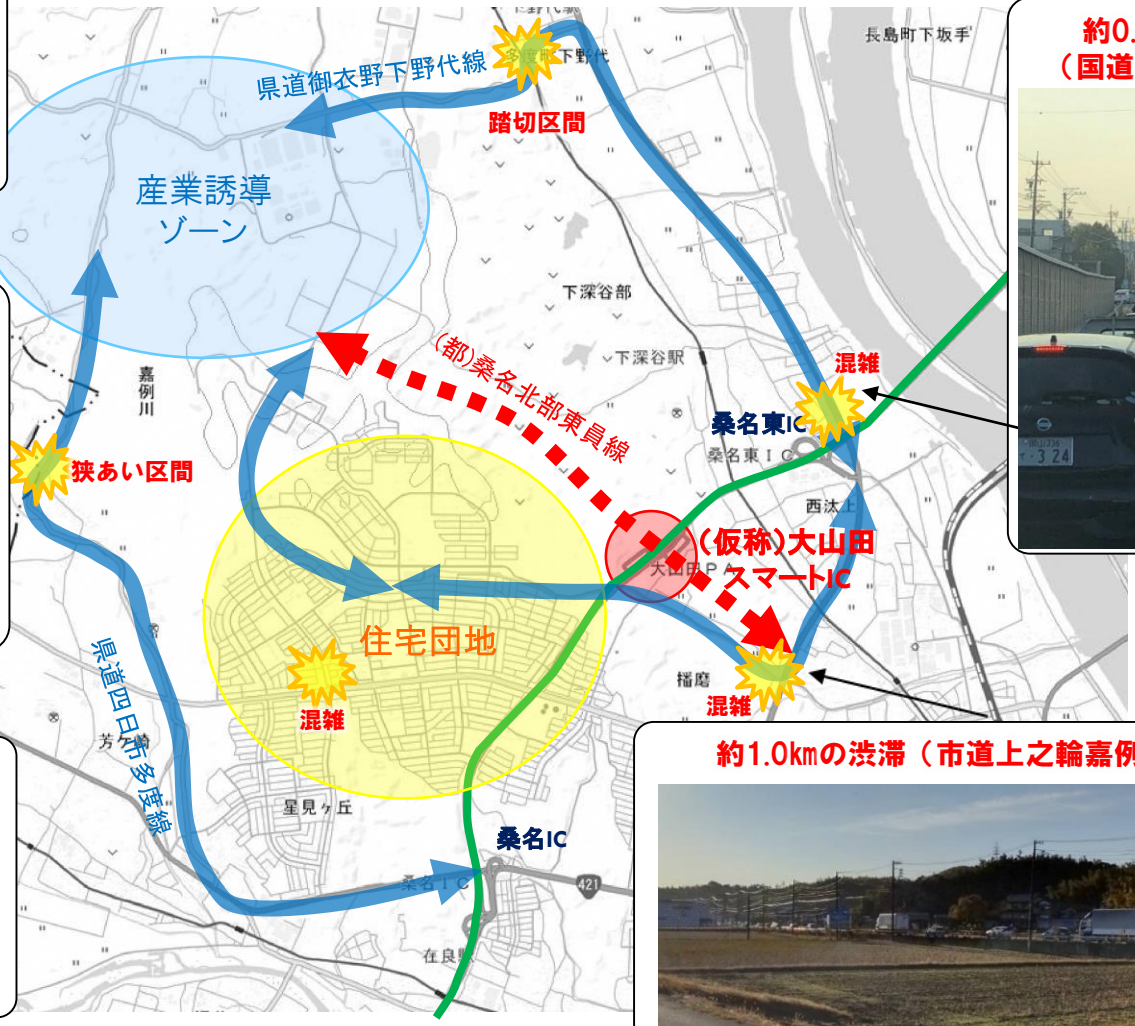
⇩

【交通負荷の軽減】
【産業の集積】
【企業活動の継続性確保】
【通勤通学の所要時間の短縮】
【広域避難】
【観光促進】

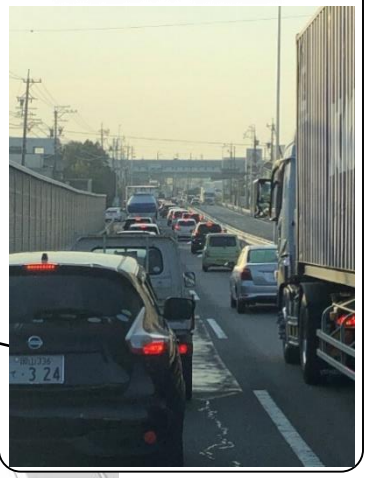
といった整備効果より、（仮称）大山田SIC整備計画

⇩

（仮称）大山SIC整備計画の周辺道路の状況から、更なる効果を発揮するために新たなアクセス道路として、都市計画道路桑名北部東員線の整備を検討

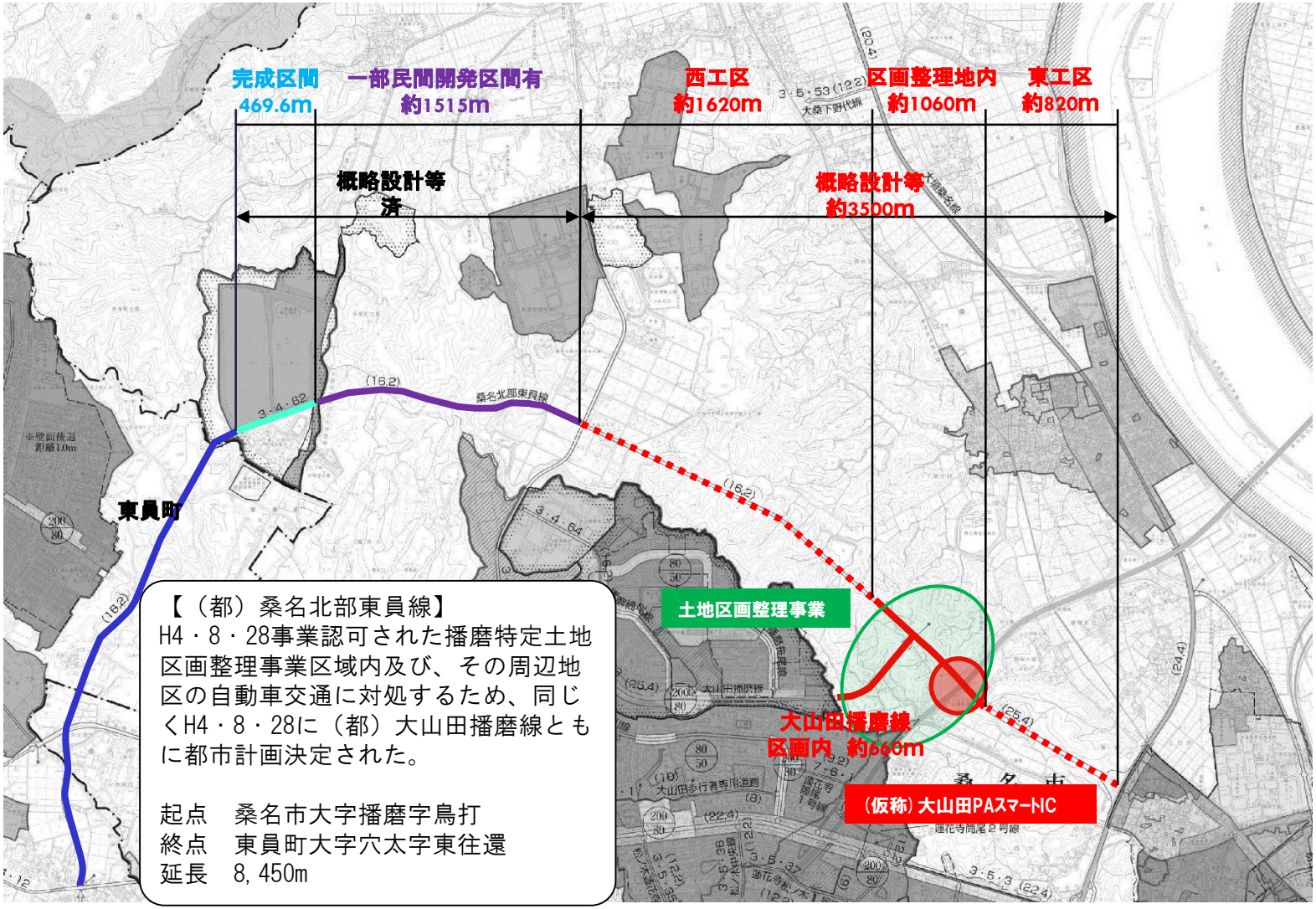


約0.8kmの渋滞（国道258号南進）



約1.0kmの渋滞（市道上之輪嘉例川線東進）

都市計画道路　桑名北部東員線の整備



【（都）桑名北部東員線】
H4・8・28事業認可された播磨特定土地区画整理事業区域内及び、その周辺地区の自動車交通に対処するため、同じくH4・8・28に（都）大山田播磨線ともに都市計画決定された。

起点　桑名市大字播磨字鳥打
終点　東員町大字穴太字東往還
延長　8,450m

本物力こそ桑名力

行政のあらゆる場面において、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進！

～デジタルファースト宣言企画第10弾～

市民中心のデジタル行政サービスを実現するために

電子申請サービスを拡充します！

電子申請サービスを拡充します！

本物力こそ桑名力

その１

戸籍謄本・抄本が
スマートフォンで請求ができます。

★２月７日（月）からマイナンバーカード（署名用電子証明書が搭載されているもの）をお持ちの方はスマートフォン（専用アプリ）で戸籍等の請求ができます。

【種類】戸籍謄本・抄本、戸籍の附票、身分証明書、独身証明書

※　本籍地が桑名市にある方で現在戸籍に限る

※　証明手数料及び郵便料が必要

電子申請サービスを拡充します！

本物力こそ桑名力

その2

「窓口で待たない」「窓口に行かない」を実現

オンライン申請で転出の届出ができます

★マイナンバーカード（署名用電子証明書が搭載されているもの）をお持ちの方は24時間どこからでも、スマートフォンで転出の手続きができます。同じ世帯で一緒に転出する方がいる場合は同時に手続きできます。

★窓口が混雑する 3月・４月も安心！

※転出に伴うその他の手続きについては担当課への確認必要

※事務処理にかかる時間があるため、余裕を持ってお手続きください

電子申請サービスを拡充します！

本物力こそ桑名力

ご利用の際、必要なもの

★スマートフォン
★マイナンバーカード
★署名用電子証明書暗証番号
（英数字が混在した６文字から１６文字の暗証番号）
★クレジットカード（転出届出の際は必要なし)
★専用アプリ（Graffer社提供「Graffer Identity」）
★クレジット決済にて　証明手数料、郵便料
（転出届出の際は手数料、郵送料は発生しません)

電子申請サービスを拡充します！

本物力こそ桑名力

スマート申請　利用者側イメージ

マイナンバーカード読取アプリにより、
電子署名から決済・申請までワンストップ！！

企業立地の基本協定締結について

本物力こそ桑名力

立地協定締結の概要

本物力こそ桑名力

協定締結日　令和４年１月２５日
協定締結者　株式会社カインズ
　　伊藤忠商事株式会社
　　伊藤忠都市開発株式会社
　　桑名市
立　会　人　三重県

計画の概要
- 場　　所　桑名市多度町力尾地内
- 敷地面積　67,873.24㎡
- 延床面積　93,470.12㎡
- 着手時期　令和４年４月（予定）
- アイミッションズパーク桑名操業開始　令和５年７月（予定）
- カインズ桑名センター操業開始　令和６年２月（予定）
- 従業員数　260名（予定）

立地企業からのコメント

㈱カインズ
高家　代表取締役社長 CEO

次世代大型物流センターと位置付ける「カインズ 桑名センター」は、地上4階建、延床面積約93,000㎡と当社最大規模の物流拠点となります。
今後、当社物流センターの基本モデルとする計画で将来的にはサプライチェーン全体で情報・機能を繋げることによる標準化に取り組んでまいります。

桑名市は今後の新名神高速道路や東海環状自動車道の整備発展に伴い、物流配送拠点としての利便性・重要性の向上が期待される魅力的な立地と確信しております。
桑名市様、カインズ様を初めとする関係各位のご協力を賜りながら、環境・社会にも配慮した、地域と共生する物流施設の整備を推進して参ります。

伊藤忠商事㈱
真木 建設・不動産部門長